令和８年度　地域支え合い・災害支援ネットワーク中予会議
開　催　要　項

１　目　　的（開催趣旨）

近年、地震や豪雨などの大規模災害が頻発する中、被災者が抱える課題は、住まい、健康、介護、障がい、子ども、経済的困窮など多岐にわたっており、行政だけでなく、地域の多様な関係機関・団体が連携し、切れ目のない支援を行うことが求められています。そのためには、平時から多様な主体がつながり、災害時に情報共有や支援方針、役割分担の協議・調整ができる関係性を構築しておくことが重要です。

本会議では、過去の災害現場で支援に携わった方々からの実践報告を通じて、災害時における連携の課題や必要な支援体制について理解を深めます。また、行政、社会福祉協議会、福祉関係機関、NPO、ボランティア団体等が､それぞれの立場や取組を共有しながら､情報共有の仕組みづくりにとどまらない、平時からの関係づくりや相互理解、役割分担のあり方を考えます。

さらに、中予エリアにおける市町域内のネットワークづくりを基盤に、市町を超えた広域連携も視野に入れながら、災害時の協働体制について協議し、多様な主体が被災者を支える地域福祉ネットワークの構築を目指します。

２　主　　催

社会福祉法人　愛媛県社会福祉協議会（愛媛県災害福祉支援センター）

３　協　　力

一般社団法人　ＦＥＥＬ　Ｄｏ

４　日時・会場

地　区	開催日時	会　　場
中　予	令和８年１２月　１１日（金） １０：３０～１２：３０	松前町総合文化センター　２階「ふれあい展示室」 （松前町大字筒井６３３）

５　参加対象

（１）行政、社会福祉協議会、社会福祉法人、ＮＰＯ法人、士業団体、企業等の職員
（２）民生委員・児童委員等、地域活動や生活課題解決等に関心のある方

６　内　　容

別紙「プログラム」参照

７　参加定員

５０名（定員を超過する場合は、参加者を調整することがあります）

８　参 加 費

無料

【申込フォーム】

９　参加申込

申込フォーム（https://ehime-shakyo.or.jp/2026/11/19/r8chiikisasaeaisaigaishien-t/）からお申し込みください。

10　申込締切

令和８年１２月３日（木）

11　そ の 他

ご不明な点等がありましたら、下記までお問い合わせください。

12　問合せ・申込先

愛媛県災害福祉支援センター（担当：葛本・川原）
愛媛県社会福祉協議会　地域福祉部　地域福祉課
〒７９０－８５５３　松山市持田町三丁目８番１５号
ＴＥＬ：０８９－９２１－８９１２　　ＦＡＸ：０８９－９２１－８９３９
Ｅメール：saifuku@ehime-shakyo.or.jp

（別　紙）

令和８年度　地域支え合い・災害支援ネットワーク中予会議

プ　ロ　グ　ラ　ム

「愛媛県における大規模災害時の支援を考える
～支援の現場から学ぶ、市町域における災害時の協働体制づくりの第一歩～」

時　間	内　容
10：10～10：30	**■受付**
10：30～10：35	**■開催趣旨・論点提供（愛媛県社会福祉協議会）** 愛媛県社協より、本円卓会議の目的と、本日の議論の軸となる「災害時の協働体制づくり」に向けた論点を提示します。
10：35～12：30	**■円卓会議** 令和８年熊本地震等における支援活動の実践報告を手がかりに、多様な関係者が情報を共有し、支援の重複や漏れを防ぐための仕組みのあり方を考えます。中予エリアにおける「情報共有会議」の立ち上げを一つのきっかけとしながら、形式的な会議体にとどまらず、平時からの顔の見える関係づくりを基盤とした協働体制の構築を目指します。市町域内の連携深化と市町を超えた広域連携の両面から、相互理解や役割分担のあり方について共に考えます。 **１　実践報告：令和８年熊本地震等における支援活動から** 被災現場での支援を行った方々より、被災地での支援活動内容、現地で直面した被災者および支援体制の課題、愛媛県での今後の備えに生かすべきポイント等を報告します。 **２　意見交換（前半）：実践から見えた協働体制づくりへの示唆** 報告をもとに、コーディネーターと報告者の間で対話を行います。事実ベースの確認を行いながら、被災地での支援活動から見えてきた教訓を、愛媛県の東予・南予エリアにおける市町域内・域外での協働体制づくりにどう活かすかを深掘りします。 **３　サブセッション：参加者によるグループワークと全体共有** 会場の皆様に 3～4 人一組となっていただき、本日のテーマについて 20 分程度の意見交換を行っていただきます。その後、3 グループほどから話し合った内容を発表いただき、会場全体で共有します。 **４　意見交換（後半）：今後の展開に向けた視点** 再度コーディネーターと報告者で議論を深めます。市町域内の連携と広域連携を両輪とした、今後の実践的な協働体制づくりへの具体的な視点を探ります。 **５　記録者による振り返り（グラフィックレコーディング等）** 一連の報告や意見交換のプロセスを模造紙に板書（可視化）した記録をもとに、記録者が本日の議論のハイライトや重要な繋がりを振り返ります。 **６　総括コメント** 本日の円卓会議全体のまとめと、今後の愛媛県における地域福祉ネットワーク・災害協働体制づくりに向けた総括を行います。

【進行役】
一般社団法人災害プラットフォームおきなわ　事業統括　宮道　喜一　氏
（一般社団法人 FEEL Do　理事）

一般社団法人 FEEL Do　理事　代表理事　兼原　英文　氏